

## 第3次豊田市文化芸術振興計画の策定について

### 1 現状の分析

#### (1) 市内文化活動の現状

別紙1参照

- ・施設利用者数は回復しつつも、コロナ禍以前までは戻っていない状況である。
- ・文化団体協議会や交流館と見ると、文化団体登録数は減少傾向にある。

#### (2) 文化活動者ヒアリング

##### ア みんなで語ろう座談会

概要 | ヒアリング（地域の文化活動について知る）と、ワークショップ（一緒に豊田市の文化芸術を盛り上げる機運醸成）を兼ねたミニ座談会を実施

時期 | 令和6年9月～10月

参加 | 市・財団事業の関係者 延べ18人（3回）

内容 | 別紙2参照



座談会の様子

##### <考察>

今後必要なこと（今回見えたこと）として、

- ・文化活動を始めたきっかけは、親や学校の先生などが影響している。こどものやりたい思いを周りの大人たちが認めて伸ばしていく必要がある。
- ・アーティストが育つためには、アーティストと市民（地域）の接点をつくっていく必要がある。
- ・文化芸術が暮らしの中で身近に見えることが大切。興味・関心に繋がり、活動したい人にとっても入口になる。

#### (3) アンケート調査

##### ア 豊田市の教育に関するアンケート調査（総合計画及び本計画の成果指標の出典元）

調査時期 | 8月～9月 ⇒集計結果は11月（予定）

調査対象 | 16歳以上の市民（3,700件）、小中学生（3,150件）

##### イ 豊田市の文化芸術の未来に向けたアンケート調査（仮）

調査対象 | 豊田市文化団体協議会会員（約180団体）

調査時期 | 令和6年12月（予定）

### 2 評価方法の検討

#### 研修会の実施

時期 | 令和6年10月

内容 | 社会的インパクト評価とは（ステークホルダー分析、ロジックモデルなど）

##### <結果>

次期計画に向けて必要なこととして、

- ・「誰のため、何のため」の取組かを整理し、成果を測る指標を再確認
- ・指標の取り方を再確認し、事業アンケート等へ反映



### 3 検討スケジュール

#### 令和6年度

##### ○第1回委員会(7月)

- ・意見交換(第3次計画の重点ポイントについて)

##### ○調査・検討(8~10月)

- ・市民アンケート実施(豊田市の教育に関するアンケート調査/教育政策課)
- ・文化活動者ミニ座談会
- ・研修会の実施

##### ○第2回委員会(10月)

- ・調査・検討状況の共有
  - ・課題の掘り起こし
  - ・次期計画の骨子(基本理念・めざす姿・基本目標)の検討
- } 今回のポイント(別紙3)

##### ○調査・検討(10~12月) 予定

- ・市民アンケート集計
- ・文化団体アンケート実施
- ・専門機関等へのヒアリング

##### ○第3回委員会(2月)

- ・課題の整理と対応方針
- ・次期計画の骨子(基本施策)の検討

#### 令和7年度

##### ○第1回委員会(6月)

- ・第2次計画の総括
- ・次期計画(骨子案)の協議
- ・紐づく事業の整理

##### ○説明・意見聴取(7~9月)

- ・庁内、教育委員会、議会、関係団体等

##### ○第2回委員会(10月)

- ・次期計画(素案)の協議

##### ○パブコメの実施(10~11月)

##### ○第3回委員会(1月)

- ・次期計画(案)の協議

##### ○計画完成(3月)